

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	令和元年度第4回武蔵村山市自立支援協議会
開 催 日 時	令和2年2月7日（金）午後1時30分～午後4時
開 催 場 所	市民総合センター3階 集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：高橋 毅、椎木 俊秀、大沼 眞弓、須永 美智子、岩瀬 香世、千田 祐子、押田 友紀子、佐藤 達也、平田 将太郎、鮫島 由美子、茂木 正義、来栖 眞理子、富田 眞貴子、榎本勝（計14名） 欠席者：小林 冬子、宮澤 ひとみ、陰山 行弘、柳 清美、名取 浩美、佐々木 久子、諏訪 潤（計7名） 事務局：登坂部長、阿部課長、奥泉係長、栗原係長、樋口主事
議 題	1 報告事項 （1）令和元年度第3回武蔵村山市自立支援協議会の会議録内容結果について （2）各専門部会からの報告 （3）その他 2 議題 （1）自立支援協議会専門部会の再編成について （2）その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	議題1について：自立支援協議会専門部会の再編成を行い、都度、見直しを行っていく。
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） ●会長 ○委員 ■事務局	1 報告事項 （1）令和元年度第3回武蔵村山市自立支援協議会の会議録内容結果について ■事前に会議録を配布させていただいている。現時点では修正等の意見はない。修正等の意見がある場合は、障害福祉課に意見をいただきたい （2）各専門部会からの報告 （訪問系サービス事業者部会から報告） ○事例検討を行った。利用者やその家族からの要望に振り回されるケース、行動障害のある利用者のケースについて話し合った。 その他として、部会再編成について話があった。 ●議事録に新たに事業所が開設とあるが、どういう事業所か情報はあるか。 ■事業所の認可は東京都が行う。事業所から事前に報告があれば、把握できるが、それ以外に関しては市には情報が来ない。今回の事業所について

は、他市に事業所を構え、武蔵村山市でも支援を行っていききたいと相談があり、情報提供させていただいた。

(日中活動系サービス事業者部会から報告)

○1月に開催した人権研修についての打ち合わせを行った。研修には39名の方が参加いただいた。

事業所見学会も継続して行っている。

部会の再編成については、他の部会のように連絡会という形で開催することは想定しない。

●研修会でアンケート等は行ったのか。

○講師の方が回収しており、部会には結果は来ていない。しかし、概ね好評だったと伺っている。

●講師方だけでなく、部会でもアンケート等を行い、集計し、その結果を部会に反映させることで、次に繋がると思われる。

○次に研修等を開催する際の参考とさせていただく。

(居住系サービス事業所部会から報告)

(部会長が欠席のため、事務局から報告)

■専門部会の再編成について話し合った。再編成後については、現在の部会の協議を続けていくために、連絡会を設けていく。

その他として、グループホームの増築や支援者への対応について情報交換等を行った。

○新しくグループホームができた時などに知らせてもらえるものなのか。

■障害福祉課としても周知を図っていく必要性については把握している。現在、障害福祉課のカウンターの前にある福祉マップを用い、グループホーム等の空き状況を周知していくことを検討している。ある程度、まとまり次第、お知らせさせていただく。

また、今回のグループホームについては、新しい入居者は募集しないと伺っており、お知らせをしていなかった。

(相談支援サービス事業所部会から報告)

○引き続き、事例検討と各事業所の近況報告を行っている。また、来年度の部会の開催についても話し合い、来年度も毎月ごとの開催を検討している。

■報告書において、モニタリングが実施出来ていないとあるが、モニタリング実施標準期間の見直しがあったことが影響していると思われる。現在の期間設定は支給されているサービスに基づき、設定しているが、これからは実際に利用しているサービスに応じて、期間設定を行いたいと思う。詳細については事業所部会にて説明させていただく。

○相談支援事業所はかなり大変であり、規模の縮小をしたいとの意見も出た。配慮していただけるところは配慮していただきたい。

■事業所の負担を減らすために、可能な範囲で対応していきたい。

(放課後等デイサービス事業者部会から報告)

○台風19号の後の部会開催ということで、防災に関する話が話に上がった。避難所の数や二次避難所について意見が出た。

また、部会の活動として学習会と救命救急講習の打ち合わせを行い、1月に開催した。学習会では43名参加した。救命救急講習には24名が参加した。

その他として、部会の再編成についてであるが、事業所同士の意見交換の場を設けるため、連絡会を開催していく。

■避難所についてであるが、現時点では2段階避難を想定している。高齢者等が一次避難所に避難をし、保健師等が一時避難所では長時間生活できないような方のスクリーニングを行い、二次避難所に移っていただくという形である。

東日本大震災の際、高齢者等が直接、二次避難所に避難をし、本来支援を受けるべき方が支援を受けることができなかったという事例があったと伺っており、直接、二次避難所に避難することは想定していない。

あくまでも、現時点での考えであるので、他市の状況等を踏まえ、状況は変わるものと思われる。

次に、報告書の中に、障害福祉課の職員が市民への対応において、不適切な対応があった旨の記載があるが、直ちに、職員への周知徹底を図っていく。

●台風19号の際、通常営業を行った事業所があるようだが、どういった経緯により、通常営業に至ったのか。

○保護者からの強い要望や地域の浸水被害も少ないことから開所に至ったと思われる。

(障害者のくらしを考える部会から報告)

○ヘルプバンドナについてが議題となっている。作製された際、どのように配布するのかなどが話し合われた。

■ヘルプバンドナについてであるが、来年度の予算案に計上することができた。市議会にて可決されれば、来年度に作製が可能になる。枚数は500枚としているが、実際にそれだけでは足りないような事態になれば、その次の年度でも予算を要求していく。

(障害者のはたらくを考える部会から報告)

○サンシャインホームでの職場体験実習を予定しており、その打ち合わせを行った。2月に開催を予定している。

部会の再編成についても話し合わせ、日中活動系サービス事業者部会の就労系サービス事業所と合流するという案が出た。

(3) その他

(武蔵村山市第五次障害者計画等策定の進捗状況について報告)

■令和元年12月23日から令和2年1月10日の期間に市民意識調査アンケートを実施した。18歳以上の障害者742名、18歳未満の障害児258名にアンケートを送付し、障害者320名、障害児91名の計411名から回答いただいた。今回のアンケートの実施に伴い、市への苦情等はなかった。

今後についてであるが、今年度中にアンケート結果の集計、分析を行い、3月中旬に市民意識調査報告書としてまとめる。来年度にはパブリックコメント等で市民の意見等を収集し、今後の数値目標の設定を行っていく。自立支援協議会でもその都度、報告させていただく。

(新規開設事業所やイベント等について報告)

■ (配布資料に基づき説明)

●新規開設事業所は計画相談支援事業所なのか。

■障害者・児の計画相談支援事業所である。

2 議題

(1) 自立支援協議会専門部会の再編成について

■ (配布資料に基づき説明)

○再編成後の活動内容については限定されたもののように見える。協議が発展しないのではないか。

■活動内容については、大まかなテーマを示した。協議の内容によっては、そこからさらに広げていただいても構わない。

○障害者の防災について、くらし安全部会で協議するテーマのひとつになると思われるが、防災については独立した部会を立ち上げることはできないか。

■まずは資料で示した通りの再編成を行い、各部会にて活動を行ってほしい。その活動がどう進んでいくのか分からない。もし、協議のなかで、部会の立ち上げの必要性が出てくるようであれば、自立支援協議会で図らせていただく。

●近年の自立支援協議会ではヘルプバンドナなど形になったものもあるが、事業所の情報交換や近況報告のみとなっている部会もあり、自立支援協議会での報告も幅がなくなってきている。自立支援協議会は各事業所の困りごと、市に訴えたいことを伝える場ではなく、地域の障害者のための課題を協議していく場である。

再編成するのであれば、各部会にて目的を明確に定め、事業計画を作り、それに沿った活動を進めていただきたい。

	<p>○就労支援部会には当事者や学校関係者は参加しないのか。</p> <p>○特別支援学校では卒業後、3年間は就労した卒業生のフォローをしていると伺っている。しかし、就労課題ではなく、生活課題が浮き出しになってくることが多い。就労できるだけの高い能力を持っているため、それまで障害福祉サービスの利用がなかった生徒も多い。そういったことも含め、教育機関と情報交換のできる場があると助かる。</p> <p>■協議を進めていく中で、構成員の変更の必要性が出てくれば、その都度、対応させていただく。</p> <p>●資料の通り、再編成を行う。協議を進めていき、必要性に応じて、構成員を追加するなどの対応をしていくということに異論ないか。</p> <p>○異議なし。</p> <p>(2) その他</p> <p>■本年3月末で自立支援協議会の任期の満了を迎える。委員の皆様におかれましては、障害福祉行政にご協力いただき、感謝する。 来年度以降の委員についてであるが、保健所等の組織については、書面にて、委員の推薦の依頼をしている。その他の委員については個別で相談させていただく。 次に、来年度の自立支援協議会の日程についてであるが、4回の開催予定であるが、武蔵村山市第五次障害者計画等策定の年度であるため、進捗状況に応じて、自立支援協議会の開催数も変わる可能性がある。ご協力いただきたい。 最後に高齢・障害担当部長より挨拶をさせていただきます。</p> <p>(高齢・障害担当部長から挨拶)</p> <p>●令和元年度第4回自立支援協議会を終了する。</p>
--	--

会議の公開・非公開の別	<p>■公開 傍聴者： <u>0</u> 人</p> <p>□一部公開</p> <p>□非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p>()</p>
-------------	--

会議録の開示・非開示の別	<p>■開示</p> <p>□一部開示 (根拠法令等：)</p> <p>□非開示 (根拠法令等：)</p>
--------------	---

庶務担当課	健康福祉部	障害福祉課	(内線：642)
-------	-------	-------	----------

(日本産業規格A列4番)